

2018 年都庁水泳大会 部員向けアンケート結果

【Q1】良かった点（回答：17 件）

① 子供が多く参加したこと

② 音響を導入させて頂けたこと。

提案時に不安がありながらも、新たな挑戦を実施してくれた執行委員の皆様方やCDを貸してくれた別府さんに心より御礼申し上げます。

自己満足ではなく、一般参加の皆様がとにかく楽しかったと実感できればとの思いです。

楽しいと言う感動が次回の参加行動につながるはずです。

③ （全体）

毎回趣向を凝らして盛り上げる工夫をしている。各担当者の方には頭が下がります。本当にお疲れさまでした。

（泳法審判）

前もって基準を示しあちこちに張り出したこと、「違反は原則取らない」と決めたことが結果として違反ゼロ（注意、1 件）となったものと思います。

④ ・音響がよかった。その結果、マイクも増えた。

・梶沼の通告の声がよかった。

・プログラムを事前に参加者全員へ配布できたことにより、ミスにあらかじめ気づくことができた。

・リザルトシステムのバッファ装置が(株)BI から新たにレンタルすることができた。

・海瀬部長からスーツケースを寄与いただいたことで、重いものや精密機器の運搬の際の破損等の不安が減った。

・普段会えない部員に会うことができた。

⑤ 音響のおかげで、雰囲気が非常によくなったと思います。

若手部員も多く、大会運営に慣れていない部員も多いので、午前中はうまくいかない部分もあったように思いますが、午後はかなりスムーズに進行できたと思います。

⑥ ・音楽をかけたことで盛り上がった。

レース間合いで機械調整をするときなども間が持たないということがない

・ヘッドセットで随時進行具合をアナウンスしていて良かった

・招集や機械の応援体制が臨機応変にとれていた

・25m レースの誘導を本部席前側に柔軟に変更する対応ができた

⑦ 事故怪我無くスムーズに競技が終わったこと

臨機応変に役員業務に携わったこと

⑧ ・音響機器とプレイリストが良かったです。大会の雰囲気が盛り上がったと思います。

・無線でタイムリーな情報共有ができて仕事がしやすかったです。

・進行管理の担当が会場内を巡回してくれたので、色々聞きやすかったです。

・名簿が交通局と水道局だけ別で作られていたの、受付しやすかったです。

・午前中に受付の手伝いを配置してくれてありがたかったです。

⑨ ・役割分担を早く決定し周知してくださったので、余裕をもって準備することができてよかった。

- ⑩
 - ・音響セットを使用し、会場の雰囲気盛り上げることができたのはよかった。
 - ・インカムをすることにより、スムーズな運営ができた。
 - ・例年になく、イベントの定員に達する時間が早かった。特に小学生が多数参加してくれた。
 - ・事前にプログラムデータを参加者に配信することができた。
- ⑪ 招集、プール内放送、音楽など選手の方々がスムーズに競技を取り組める環境を作れていたこと
- ⑫ それぞれの役割に慣れてきたので、昨年よりもスムーズだったと思う。
- ⑬
 - ・機械調整で進行が遅れることはあったが概ねオンタイムで大会を終えることが出来た点。
 - ・各担当の責任者の指揮の元、特段大きな問題がなく運営出来た点。
 - ・インカムの導入で指揮伝達が昨年にくらべてスムーズであった点。
 - ・音楽の導入で大会の雰囲気もよく、盛り上がった点。
- ⑭
 - ・トランシーバーの導入で情報共有がスムーズにできた
 - ・音楽で大会雰囲気が格好良くなったと感じた
 - ・午前、午後ともにスタートが遅かったが、時間を取り戻した。
 - ・ちびっこのレースの人数が多くなってきた。(イベントが浸透してきた)
- ⑮
 - ・役員が的確に分担され手持無沙汰にしている人がいなかった。
 - ・ちびっこの参加が増えた。
 - ・会場マイクが聞き取りやすくなった。(音響機器レンタル会社の人が調整してくれたおかげであるが)
 - ・音響機器の導入。
- ⑯ トランシーバーは連絡調整が早くできたので非常に良かった。
- ⑰ ○通告
 - ・梶沼さんの起用は大正解でした。声の通りは抜群で、突然のオーダーにも適切に通告をしていました。今後の継続を是非お願いしたいです。
 - ・施設のマイク設備の調整(周波数?チャンネル?)を音響設備レンタルの業者が行ってくださり、音声がいつになくクリアだった。
- その他
 - ・音楽は大会が盛り上がり良かった。流行りの曲は参加者からも好評だった。入場のテーマ曲等の音楽(水夢)は大会経験のある人は好評だった。
 - ・チャレンジ(ちびっこ)音楽が良かった。表彰が本格的だった。記録証でなく賞状が嬉しかった。などの感想が寄せられました。
 - ・チャレンジ(ちびっこ)の参加者が多く、盛り上がった。賞状の筆耕が1名で対応し時間がかかったので、来年は手伝います。

【Q2】反省点（回答：15 件）

- ① 大会記録更新がほとんどなかったこと。
- ② 曲目数が少なかった。競技中に適した曲目を増やしたい。選手入場曲目を増やしたい。
曲をかけるタイミングが合わない部分があった。通告と招集との連携していきたい。
- ③ （全体）

良かった点の裏返しとなってしまいますが、大会の運営委員の負担が大きくなりすぎないことと、各仕事が属人的になりすぎないことに注意が必要かと思います。

今まで、核となって運営していた人が、仕事や子育てで抜けてしまった場合に、それを引き継ぐ人の負担などを考えると、「ほどほど」がよろしいかと思います。（なにをもってほどほどというのか基準はありませんが）

（泳法審判）

各審判員が泳法審判のやり方のルールをよくわかっていないようだった。泳法審判には無線は不要と感じました。
- ④ ・インターネットの申込を失念し、選手として出場できなかった部員がいた。
・招集に人が思うように集まらず、混乱していた時間があった。
- ⑤ 午前中は受付に人が殺到するので、もう少し手厚くしてもいいと思います。
特に、参加者からの質問を受付で受けることが多いので、全体を把握している人を1人配置できるといいと思います。
チャレンジレースは、プログラムの差し替えが複数あり、直前までバタバタしてしまいました。
転記ミスは、ダブルチェックができていなかったことが原因なので、ダブルチェックを体制を徹底したいと思います。
- ⑥ ・文具のうち、透明セロテープが少なかった。
・本部席うしろが一般参加者が通りにくい状況になってしまった。
→結果的に賞状置き場を移動したことで解決
・賞状がたまってしまった。
→大口局（水道、交通、病院）用に箱をつくり届けるようにしたい
・チャレンジレースのエントリー票
年齢区分（大人か子供か）がしっかり書かれていないものがあった。
子供には手書き賞状を作成するため、「しっかりした氏名（漢字）」を記入してほしい
→しっかり書いてくれれば昼休みのうちに準備が可能
- ⑦ 注意と失格の境目が曖昧だった為、次回は初心者でもわかるように説明しておく
- ⑧ ・受付で一般のリレーのエントリー状況を記録しておけば、未提出のチームにすぐ勧奨できた。
・正確な人数は不明ですが、受付漏れの人が何人かいて、選手紹介の通告を聞きながらチェックした。
・エントリー後切後のチャレンジレースやピタリレの申込対応等に迷うことがあった。
- ⑨ 【受付について】
・受付機を開会式直前にプールサイドへ移動させたが、その旨の案内表示を怠ったため、

受付をしそびれてしまった参加者が多数いらした。「受付はプールサイドです。受付をお済でない方は、お声掛けください。」などの表示を入口と更衣室入口に掲示するとよかった。

【びたリレについて】

- ・ 1 レース目のあとのタイム確認で時間を要してしまったが、MC や通告でうまくつないでいただき、時間通り終えることができてよかった。記録用紙があつてとてもよかった。
 - ・ エントリー集計用紙は、全部で5枚必要（招集2枚、MC 1枚、機械・記録1枚、主任1枚）なので、レースを組んだら4枚コピーするとよい。
- ⑩ ・ プログラムに一部ミスがあった。（年齢区分の間違いが2名4種目）
- ・ 混合リレー、混合メドレーリレーにおいて、混成チーム（オープン参加）に対して加点してしまった。
- ⑪ 機械トラブルで少々もたついてしまったこと
- ⑫ ・ 扱いに慣れない人も一部いるため、インカムを完全に使いこなせてはいなかった点。
- ⑬ ・ 音楽をかける競技について情報共有がされていなかった。
- ・ 午前、午後ともに開始時刻が遅れた。
- ⑭ ・ スタートリストの間違い
- ・ 午前競技開始直後、計測システムに不具合がおきた。（チェック不足？）
 - ・ 招集場に来て寒がる女性が多かった。（招集場付近は寒く上着の着用を勧める旨、開会式で伝える）
 - ・ 印刷したプログラムが余り過ぎた。
- ⑮ ・ 山口さんの PC がここ数年、必ず設営時にトラブルが起きている。2 時間半でも準備が出来ない状況。PC の設営は、わからないし、私物 PC ？ ため、ほぼ協力できない。
- ・ 機械とリザルトで3名は無理。今回は山口さんの PC も一台使えず、機材、人員とも不足していた。山口さんがほぼ賞状印刷担当となつてしまい鈴木（恵）さんが手伝ってくれなかったら、速報の張り出しもできなかった。
 - ・ チャレンジとびつたりをリザルトで対応出来そうな状況だが、午前中から、直前まで入力に時間がかかってしまった。
 - ・ レースを余裕を持ってみている人が機械になくて、女子の最後のリレーで着順がおかしくても気がつかなかった。
 - ・ 昼休みに午前中の得点集計ができなかった。

【Q3】改善点（回答：14 件）

- ① 参加者を増やすこと（如何にするかは考えてもらいたい）。
- ② 音響導入による効果（大会参加者数の推移やリピート率）については、今後数回様子を見させていただけるとありがたいです。

やはり、音響機器レンタル費用も含め都庁大会が持続的に発展していくことです。

ほか

- ・ 通告のアナウンスと音楽について

リレー、チャレンジレース、2 分間びったりレース等選手入場時には大げさなくらいの抑揚と速度&音楽により、選手入場の演出を盛り上げていきたい。特に最後のリレーでは、演出を高めていきたいです。

- ・ 競技中や朝アップ時、昼休み時に適した曲目を増やすこと。

（ターゲット：50 代、40 代、30 代、20 代における有名な曲、女性が聞きたい曲など）
選手入場曲目を増やすこと。通告と招集との連携。

- ③ （全体）

これ以上費用負担（持ち出し）が増えない範囲での趣向の凝らし方がよろしいのではないのでしょうか。（ただし、参加者が増加し収入も見込めればそれに見合った演出などはあってもよろしいのかなと思います）

（泳法審判）

次年度は、シフト表だけでなく実際に審判を行う際の動き方や、注意する場合はどのように行うかなどについてももう少し決めておきたいと思います。

- ④ ・部員の参加状況によって、来年以降は2 種目以上の出場を認めてもいいのではないかな。もっと泳ぎたいと思っている部員がいると思う。
- ⑤ 人手が少ない中での役員兼選手であったが1 人1 人良いパフォーマンスをするために役員業務に少しゆとりが方がいいと思った。
- ⑥ ・受付開始直後のバタバタしている時間に、参加者の問い合わせに答えられる方が受付にいらえるとありがたいです。
 - ・チャレンジレースやピタリレなど当日申込可の競技のエントリー状況を受付で一目瞭然にできると良いと思いました。
 - ・受付勸奨の放送を流したり、張り紙をすると、受付漏れがより少なくなるのではないかと思います。
- ⑦ ・参加費入金について、参加者31 名が期日までに振込をしていなかった。もう少し余裕あった方がよいのかも知れない。
 - ・大会の申込みを行ったが、参加費入金前にキャンセルの申し出が1 件あった。今後、ルール作りが必要である。（今回はキャンセル料等はいただかなかった。）
 - ・プログラムが60 部余ったので、次回は印刷部数を減らすことを検討して欲しい。
 - ・チャレンジレースにおいて、小中高生は当日受付のみとなっていたが、事前受付可能とすることを検討して欲しい。（参加者から問い合わせが複数寄せられた。）

- ・何らかの理由でホームページでの受付ができない場合の受付方法について検討して欲しい。
- ⑧ 任された担当係内で当日の流れ、やることを前日までに把握しておくこと
- ⑨ ・タッチ板の説明が必要かと思いました
⇒今回もソフトタッチで手動計時採用の例があったと思います。マスターズ大会などに出ていないと、タッチ板の役割が分からないと思うので、タッチの仕方を良いと思いました。
- ⑩ ・イベント（2分間ピタリ）で機械担当の作業もかなり多く、スムーズになかなかいかないので事前にリハーサル等してもよいのではと思った。
・棄権票の導入（今回欠場者が非常に多く招集から通告に棄権の連絡が回らずアナウンスしてしまうことも多々散見されたため。）
・リレーオーダー用紙のチェック、改善（フルネーム、フリガナをちゃんと記入するように受付時点で呼びかけをしてほしい、混合リレーもあるので男女の記入欄を設けてほしい）
→今回一部名字だけのオーダー用紙があり通告等で非常に困った、また一部チームでオーダーと異なる人が泳ぐことになり、急遽オープン参加となったりしていたため。
- ⑪ ・トランシーバーの配置先。招集は主任が1台と1番動く人に1台持たせれば、全体がスムーズに動くと感じた。
・トランシーバーで共有した情報が、末端まで届いていなかった。主任は各役員に伝達する必要あり。
・午前、午後開始直後招集が手薄で厳しくなる。競技が始まるまでは泳法審判や計時なども動員できるのかもしれない。
- ⑫ ・一人ぼっちレースが多かった。希望があれば部員と一緒にペースメーカーとして泳いではどうか。
・昼休みに一般参加者が2階ラウンジで食事をしていたが、凄く寒そうだった。
・競技に出ない部員が増えた。個人的に残念で仕方ない。
・大会の申込み方法を守っていない部員がいる。
(HPの応募フォームを利用してくれないと登録ミスに繋がったり、担当者の余計な作業が増える)
- ⑬ 機械とリザルトは、昨年までと同様分けるか、増員する。
当日の作業リストみたいなものと、マニュアルは必要なのかなと思う。
- ⑭ ○通告
・3人体制については、競技に参加、棄権の確認、新記録や失格の対応、トランシーバーの対応などがあり今年度も忙しかったため継続をお願いしたい。
・トランシーバーの導入については、審判長からの通告コールがアイコンタクトでなくスムーズだった。その他の担当からの連絡も迅速かつ、情報共有ができて良かった。ただし、通告中はイヤホンをしていると自分の声が大きく聞こえてしまい、通告の音量が下がり気味になるので、別々に担当するのが好ましい。
・競技開始から暫くの間、スタートリストが印刷されずリレーオーダー表やプログラムを読み上げた。振り仮名がないのでスタートリストは欲しい。